



MONITOUCH

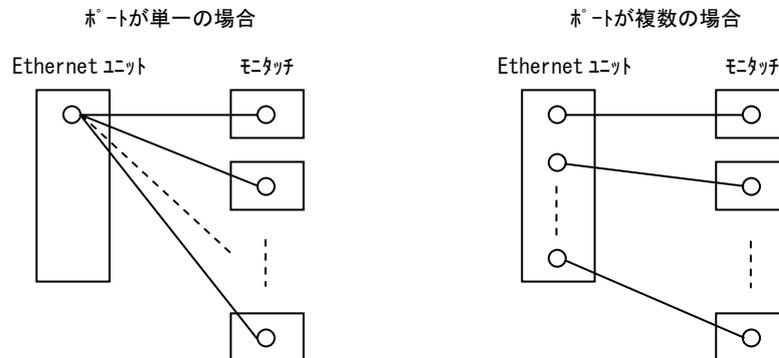
テクニカルインフォメーション

2008年8月11日

テーマ	PLC の Ethernet ユニットのポート番号を複数設定してモニタッチを複数台接続する		
該当機種	三菱製 PLC QnH、V7・V6 シリーズ Ethernet 対応機種	No. TI-M-0011-3	1/5

1. 概要

PLC の Ethernet ユニットのポート番号が単一の場合、モニタッチを複数台接続すると、台数が多くなるにつれて処理が遅くなります。(サイクルタイムが延びる) そこで、GX Developer の設定によりポート番号を複数設定すると、一つのポート番号に対して一台のモニタッチを割り付けることが可能です。それによって処理を高速にすることができません。



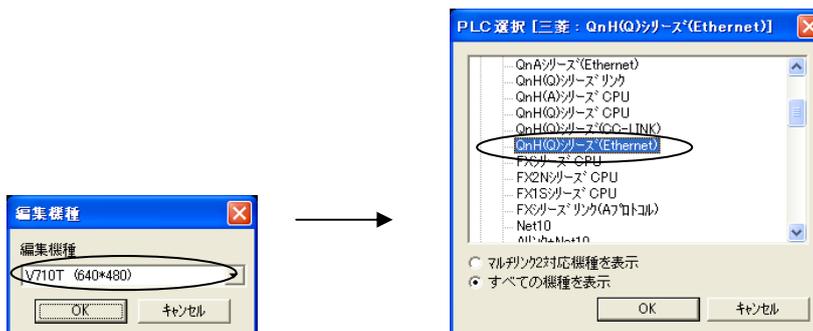
2. 接続環境

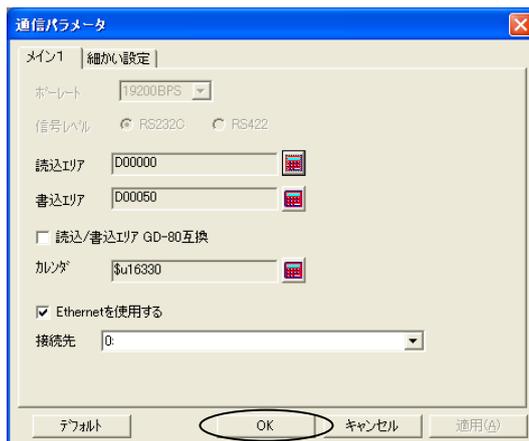
モニタッチ : V7 (5台)
PLC : Q02 + QJ71E71 (1台)
使用ソフト : GX Developer Ver 7.01B (SW7D5C-GPPW)

3. V-SFT 設定手順

- ① V-SFT を立ち上げます。

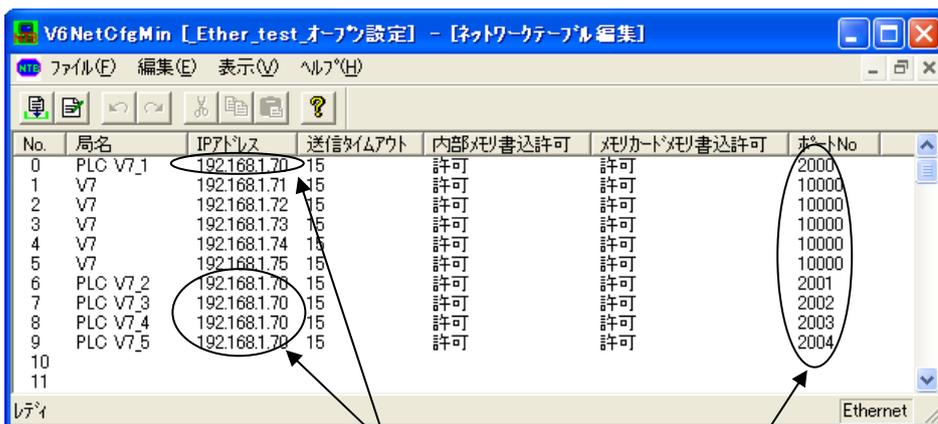
モニタッチの機種と PLC の機種 [QnH(Q)シリーズ (Ethernet)] を選択します。





[OK] ボタンをクリックします。

- ② [システム設定] → [ネットワークテーブル設定] → [Ethernet] で、ネットワークテーブル編集に入ります。
 接続する PLC とモニタッチの IP アドレス・ポート No. などを設定します。



PLC の IP アドレスは同じにする

ポート No. は 0~65535 (DEC) の範囲で設定します。
 PLC は IP アドレスが同じなので重複しないようにする。
 モニタッチは IP アドレスが異なるので重複しても構わない。
 (モニタッチのポート No. は 1024~65535 の範囲で設定します)



- ③ [システム設定]→[通信パラメータ設定] で、通信パラメータを表示させます。

接続先を設定します。



以下のようにモニタッチと PLC のポート番号が 1 : 1
で対応するように、モニタッチ画面データ毎に接続先
を設定します。

モニタッチ IP		PLC IP	ポ ー ト No.
192.168.1.71	↔	192.168.1.70	2000
192.168.1.72	↔	192.168.1.70	2001
192.168.1.73	↔	192.168.1.70	2002
192.168.1.74	↔	192.168.1.70	2003
192.168.1.75	↔	192.168.1.70	2004

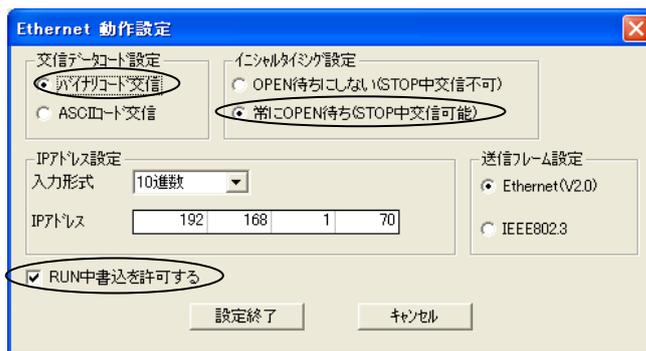
- ④ 各画面データを各モニタッチに転送します。

4. GX Developer 設定手順

- ① GX Developer を立ち上げます。
- ② ネットワークパラメータの[MELSECNET/Ethernet]より「ネットワークパラメータ MNET/10H Ethernet 枚数設定」ダイアログを開き、「動作設定」をクリックします。



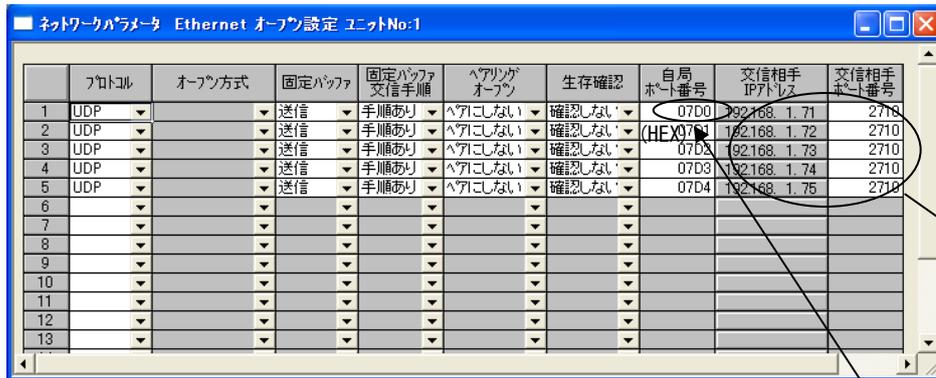
- ③ 「Ethernet 動作設定」ダイアログが表示されます。
以下のように設定し、[設定終了]をクリックします。



- ④ 「ネットワークパラメータ MNET/10H Ethernet 枚数設定」ダイアログより、「オフ設定」をクリックします。



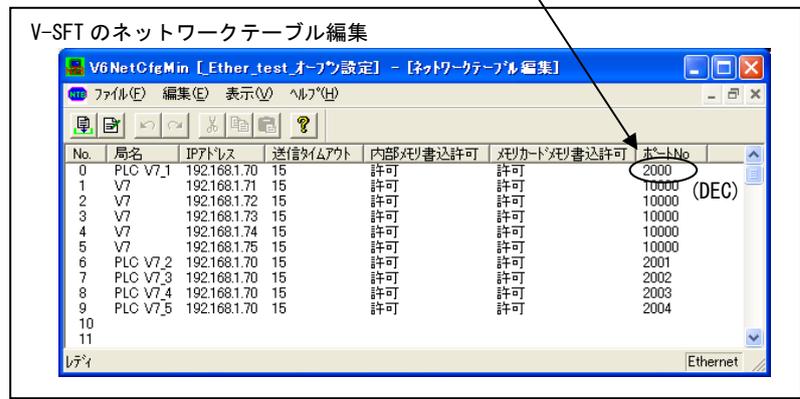
- ⑤ 「ネットワークパラメータ Ethernet オープン設定」ダイアログが表示されます。
 以下のように設定します。



注意)
 ポート No. は HEX で
 設定します

モニタの IP アドレスとポート No.

同じにする



- ⑥ 設定ができたなら、「PC 書き込み」でネットワークパラメータ設定を転送します。

お問い合わせは...

 発紘電機株式会社 技術相談窓口 TEL : 076-274-5130 FAX : 076-274-5208